

# 大村市議会

## NEWS



### 東日本大震災の がれき処理について



東日本大震災で発生した大量のがれき

**大**村市議会では、平成24年4月2日、「東日本大震災のがれき処理を考えるプロジェクト・チーム」を設置し、環境センター焼却炉・最終処分場の現地視察を実施するなど、がれき受け入れの可能性について、慎重に調査・研究を行ってきました。

その結果、「市の焼却炉において、受け入れ可能な焼却量を確保するためには財政的な負担が発生する（運転人員の増員など）」、「最終処分場に埋める焼却灰に放射性物質が含まれていた場合、雨水や浸透水として大村湾に流出する可能性がある」、「国が放射性セシウム濃度の基準を引き上げた理由を明確に示していない」ことなどを考慮し、大村市において、東日本大震災のがれきを受け入れることは極めて困難であるという結論に達しました。

#### ◎ 経過概要

日時	内容
3月6日	大村市長、がれき受け入れについて前向きな姿勢を表明
4月2日	プロジェクト・チーム設置 担当課説明及び質疑
10日	焼却炉及び最終処分場視察
23日	担当課説明及び質疑（全議員）
6月4日	活動経過及び方向性について確認
11日	大村市長「受け入れは困難」と表明
15日	担当課説明及び質疑
25日	最終調査報告

#### ◎ メンバー構成

川添 勝征（座長） 村上 秀明（副座長）  
伊川 京子 田中 守 大崎 敏明 村上 信行  
城 幸太郎 辻 勝徳 永尾 高宣

いつも議会報をご愛読いただきありがとうございます。今号の議会報も、皆様のご意見をお聞きし、工夫を重ねて編集しております。

さて、6月定例会では、新規事業である「三浦地区コミュニティ施設建設補助事業」における行政の補助金のあり方、その施設に対する行政の関与のあり方などについて、特に議論が白熱し、多くの議員から質問が上がりました。紙面の都合上、詳細については掲載をしておりますが、ご関心をお持ちの方は、会議録の閲覧やお近くの議員にお尋ねいただければ幸いです。

今後とも、議会の傍聴や市民と議会のつどい「語ってみゅ〜か」への多くの市民の皆さまのご参加をお待ちしております。また、ケーブルテレビ、FMラジオ、インターネットによる本会議、一般質問の中継もぜひご視聴ください。

(田中 守)

編集

後記

#### 広報委員会

伊川 京子・田中 秀和  
古閑森 秀幸・三浦 正司  
水上 享・里脇 清隆  
田中 守・園田 裕史

◇表紙の写真は夏越祭りです。（8月撮影）

市政一般質問や定例会の内容など、もっと詳しく知りたい方は大村市議会のホームページをご覧ください。



編集・発行 大村市議会  
大村市玖島1丁目25番地 TEL 52 - 3828

<http://www.city.omura.nagasaki.jp/gikai/>